



リリース 4.3.x の新機能と変更点

次の表に、『Cisco ASR 9000 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ L2VPN およびイーサネット サービス コンフィギュレーション ガイド』における新機能および変更点の情報を要約し、その参照先を示します。

表 2 新機能および変更された機能

機能	説明	導入/変更が適用されたリリース	参照先
Any Transport over MPLS (AToM) iMSG	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>ポイントツーポイント レイヤ 2 サービス モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • AToM iMSG • AToM IP インターワーキングの設定 <p>AToM iMSG 機能の設定および確認に使用するコマンドについては、『Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router L2VPN and Ethernet Services Command Reference, Release 4.3.x』の「Point to Point Layer 2 Services Commands」を参照してください。</p>
L2VPN over GRE	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>マルチポイント レイヤ 2 サービス モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • L2VPN over GRE • L2VPN over GRE の設定
疑似回線ヘッドエンド	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>マルチポイント レイヤ 2 サービス モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • 疑似回線ヘッドエンド • 疑似回線ヘッドエンドの設定 <p>疑似回線ヘッドエンド機能の設定および確認に使用するコマンドについては、『Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router L2VPN and Ethernet Services Command Reference, Release 4.3.x』の「Point to Point Layer 2 Services Commands」を参照してください。</p>
L2VPN ノンストップ ルーティング	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>ポイントツーポイント レイヤ 2 サービス モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • L2VPN ノンストップ ルーティング • L2VPN ノンストップ ルーティングの設定 <p>L2VPN ノンストップ ルーティング機能の設定および確認に使用するコマンドについては、『Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router L2VPN and Ethernet Services Command Reference, Release 4.3.x』の「Point to Point Layer 2 Services Commands」を参照してください。</p>

機能	説明	導入/変更が適用されたリリース	参照先
プロバイダー バックボーンブリッジ VPLS	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p><i>IEEE 802.1ah</i> プロバイダー バックボーンブリッジ モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • PBB VPLS の設定 • PBB-VPLS の設定 : 例 <p>プロバイダー バックボーンブリッジ VPLS 機能の設定および確認に使用するコマンドについては、『<i>Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router L2VPN and Ethernet Services Command Reference, Release 4.3.x</i>』の「<i>Point to Point Layer 2 Services Commands</i>」、<i>「Multipoint Layer 2 Services Commands</i>」、および「<i>Provider Backbone Bridge Commands</i>」を参照してください。</p>
Multiple I-SID Registration Protocol Lite	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p><i>IEEE 802.1ah</i> プロバイダー バックボーンブリッジ モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • Multiple I-SID Registration Protocol Lite • MIRP Lite の設定 : 例 <p>プロバイダー バックボーンブリッジ VPLS 機能の設定および確認に使用するコマンドについては、『<i>Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router L2VPN and Ethernet Services Command Reference, Release 4.3.x</i>』の「<i>Point to Point Layer 2 Services Commands</i>」、<i>「Multipoint Layer 2 Services Commands</i>」、および「<i>Provider Backbone Bridge Commands</i>」を参照してください。</p>
バンドル インターフェイス上の Per-VLAN スパニングツリー アクセス ゲートウェイ	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>マルチ スパニングツリー プロトコル モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • バンドル インターフェイスの PVSTAG
疑似回線のグループ化	この機能が導入されました。	リリース 4.3.0	<p>ポイントツーポイント レイヤ2 サービス モジュールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> • 疑似回線のグループ化 • 疑似回線のグループ化のイネーブル化

